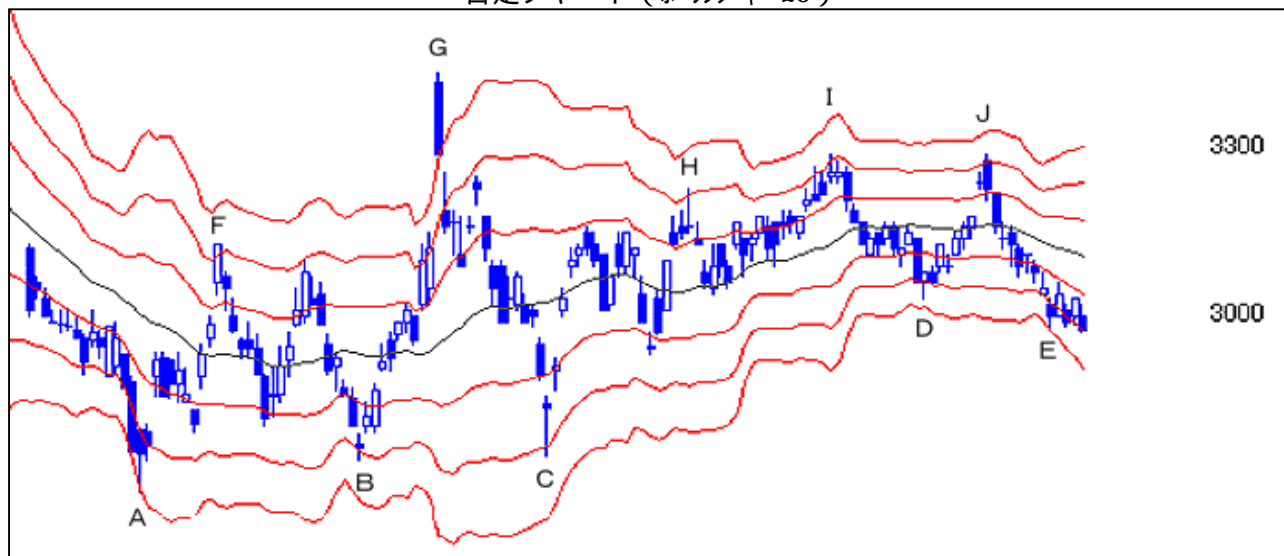


## 第 33 回チャート塾 【ボリンジャーバンドで銘柄分析】

この情報は 2003 年に有料コーナー内に掲載した情報です  
ひとつのテキストとしてご覧下さい

### 7203 トヨタ自動車

日足チャート (ボリンジャー 25)



トヨタ自動車の日足チャートをボリンジャーバンド (25) で見てみましょう。基本的な見方としては、 $-2$  (A・B・C・D・E) からはみ出せば買いのタイミング、 $+2$  (F・G・H・I・J) はみ出せば売りのタイミングとなります。これはあくまでも確率的な基本ですが、相場に勢いがあれば若干行き過ぎる場合もありますので、それを理解した上で相場に対処しなければなりません。例えば、上チャートのGの所ですが、上昇に勢いがついて $+3$  を上にはみ出しています。これが行き過ぎの状態になります。確率的にはGの所で空売りをした場合の成功率は95%以上となりますので、ほぼ確実に儲かるリスクの少ないカラ売りのタイミングとなります。具体的なボリンジャーバンドの活用のしかたとしては、以下の様に考えれば良いと思います。

#### 【初心者に近い人の場合】

ボリンジャーバンドで投資のタイミングを判断する場合は、 $-2$  をはみ出した時が買いのタイミングとなり、 $+2$  をはみ出した時が利食いのタイミングと考える事がリスクの少ない投資と言えます。又上昇中の株を買う場合に株価が既にボリンジャーバンド $+2$  付近にあれば見送る方が良いでしょう。

#### 【中級者の場合】

$-2$  をはみ出した時が買いのタイミングとなり、 $+2$  をはみ出した時が買い建ての利食いと新規のカラ売りのタイミングとなります。そして、再度 $-2$  をはみ出した時がカラ売りの利食いと新規の買いとなります。これを繰り返す投資戦術が最も効率の良い投資となります。カラ売りを行う際の注意点としては、株価が既に $-2$  付近にあれば確率的には新規のカラ売りは避けた方が良いでしょう。

但し相場に100%の確率はありませんので、目論見がはずれた場合は一旦手仕舞いして、再度仕切り直す方が良いでしょう。又、仕手化した株などは、テクニカル分析では理解できない値動きをする場合がありますので、仕手株には適用しない方がより安全に活用できると考えます。